Dream Dome

学習デスク　取扱説明書（保証書付き）

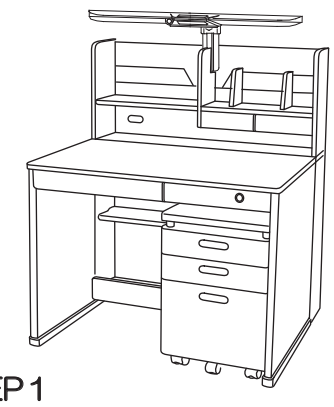
JNV-3TI-DD1
保存用

このたびはドリームドーム学習家具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

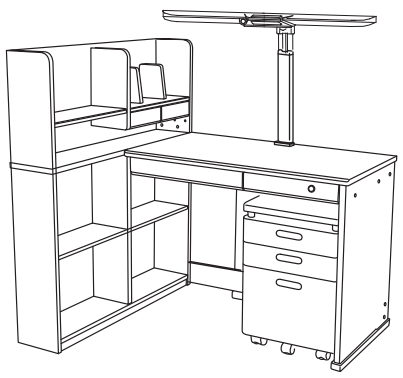
●ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●事故防止等、安全のため、「使用上の注意」を必ずお守りいただいてご使用ください。
●お読みになった後は大切に保存していただき、取扱いのわからないときにお役立てください。
●文中のイラストは、共通のため、現物と異なる場合がありますが、ご容赦願います。

■組立ての前に

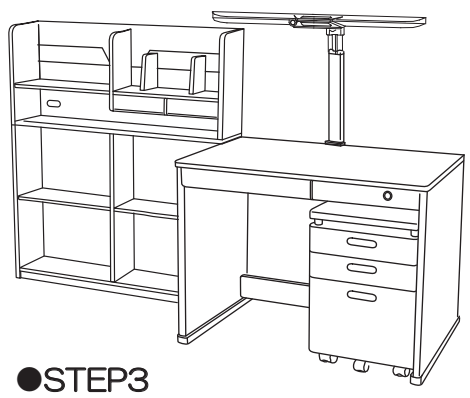
ステップアップデスクは、STEP1、STEP2、STEP3 と、用途に応じて3 種類のスタイルに組立てることができます。どのスタイルにするか決めてから組立ててください。



●STEP1
（スタンダードタイプ）



●STEP2
（ユニットデスクタイプ）



●STEP3
（セパレートタイプ）

品番　DDF-731WW
　　DDF-732NS
　　DDF-733WT

●展示品とお届け品とでは多少木柄や色が違うことがあります。
●力の掛かり具合によっては表面に押しキズ、打ちキズ、塗装はげ等を生じることがあります。

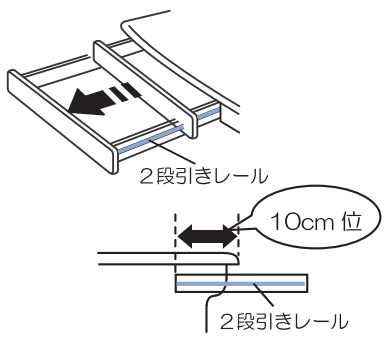
組立説明書のマークについて

●この説明書では下記のマークを付けて、お守りいただく内容を説明しています。
　⚠ 気をつけていただきたい注意内容
　⃠ 必ず行っていただきたい指示内容

■引き出しがかたくなったときは．．．

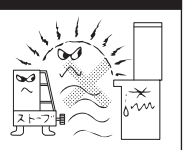
●デスク引き出しには、2段引きレールを使用しています。
このレールの構造特性上、引き出しを最後まで引き出さず、開閉をくりかえし使い続けた場合、引き出しがかたくなることがありますが、故障ではありません。
数回に分けて少し強く引き、最後まで引き出してください。

●これでも改善されない場合は、レールの破損も考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

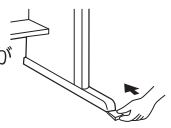


据え付け時のご注意

①すえ付け場所
⚠直射日光や熱・冷暖房器の強風等が、直接当たらないようにしてください。
➡家具がゆがんだり、変色したりする原因になることがあります。



②水平設置
⚠水平を保つように置いてください。水平でない場合、家具の下に詰めものなどをして水平にしてください。
➡ガタツキのまま使っていると、引出しの出し入れがスムーズでなかったり、家具がこわれたり、ケガをする原因になることがあります。



③家具の移動
⚠家具の移動は 1 人でしないでください。
➡ケガや、器物破損の原因になります。

点検と修理が必要なとき

1 より安全にご使用いただくために次のような異常があったときはお買い上げの販売店にご相談ください。
●コンセントや差し込みプラグが異常に熱いとき
●器具接合部のゆるみやコードの損傷があるとき

2 部品交換の場合は電源コードの差し込みプラグを抜いてから交換をしてください。
●電流ヒューズの交換　●ランプの交換
⃠器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
➡火災・感電の原因になります。

3 取扱説明書どおりに使用されてもまだ不明な点があるときはお買い上げの販売店にご相談ください。

SA·FU
無断転用を禁ず
(社)日本家具産業振興会
☎03-3261-2805

学習机保証書

〈無料修理規定〉
1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理**をさせていただきます。
　①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。**
　②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
　③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
　④消耗品の消耗、又はそれによる故障
　⑤本書のご提示がない場合
　⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

＊ご販売店様へ　必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。
この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品番	（デスク引出し内の白いラベルで品番をご確認ください。）
お客様	お名前
	ご住所　〒 電話番号（　　）　—
お買い上げ日	販売店名·住所·電話番号
年　月　日	
保証期間（お買い上げ日より）	
3ヶ年	

（お願い）お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保存してください。

お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◆お客様相談室　コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号　☎06（6658）7382
（所在地、電話番号等については変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）

1 シェルフの組立て方法

■シェルフ付属品

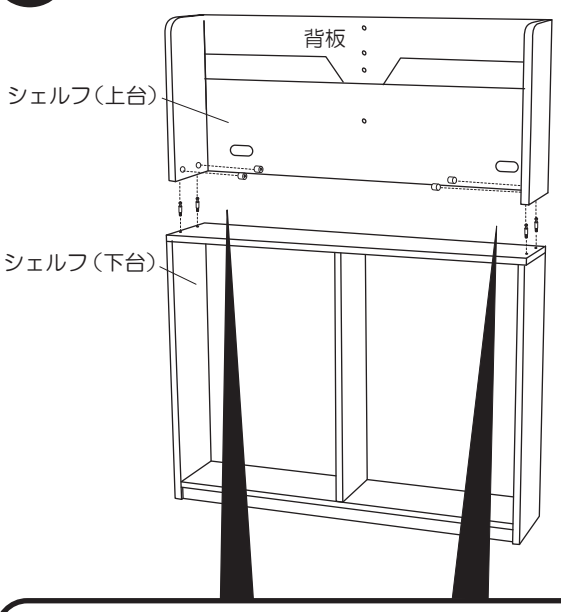
梱包名「ミドルシェルフ」に同梱されている部品									
A 連結ピン	B 回転金具	C ボルト(M6×35mm)	D 穴埋めキャップ	ナット用キャップ	F 樹脂棚ダボ	G ユニット連結金具	H ボルト(M6×20mm)	コンセントボックス
SAT6MB605	SAT6MKN18	SAT1BZ635	SAT9AC18W SAT9AC18V SAT9AC18R	SZCTDC10W SZC9DC07V SZC7DC06R	SZCTTD09G	SZCTLKSUL	SAT6BU620	KRE9SW10L
×4	×4	×3	×1	×1	×8	×2	×6	×1

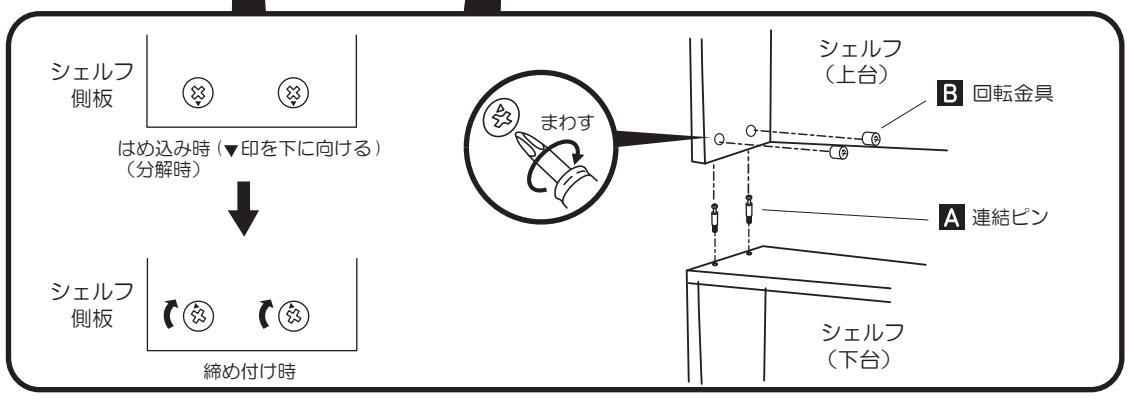
部品品番が3行表記のものは、商品カラーにより使用部品の色が変わるものです。末尾の記号W=WW商品色用、V=NS商品色用、R=WT商品色用となります。

注1 C ボルト（M6×35mm）3本の内1本は、ライト付属部品のコンセントボックス固定用です。

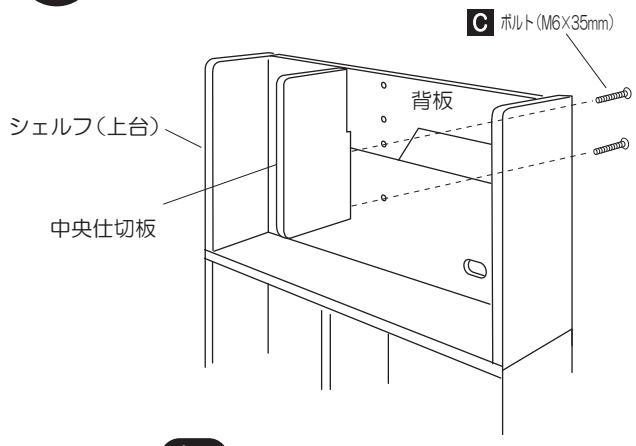
注2 D 穴埋めキャップとナット用キャップは、デスクの組立後使用します。

1



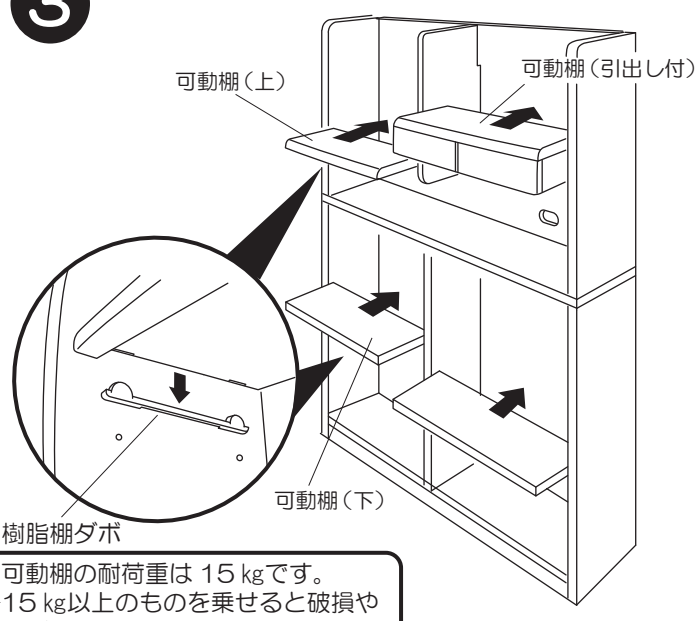


2



注1 C ボルト（M6×35mm）1本あまる

3



⃠可動棚の耐荷重は 15 ㎏です。
➡15 ㎏以上のものを乗せると破損やケガの原因になります。

4

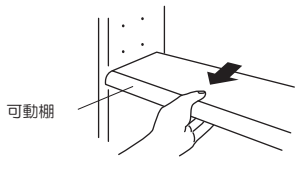
組上げたいスタイル（ステップ1～3）を決めていただき、次の本立ての取付けをし、デスクの組立方法へ移っていただいたあと、照明器具の取付けをしてください。

注2 D 穴埋めキャップとナット用キャップがあまっていますが、デスクの組立後使用します。

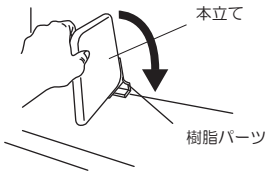
2 本立ての取り付け方法

①可動棚への取付け方法

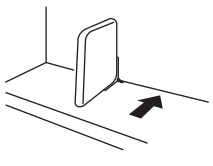
※本立てを取付ける際は、上に物が乗っていないことを確認してください 。



①可動棚を持ち上げて、手前に引き出してください。



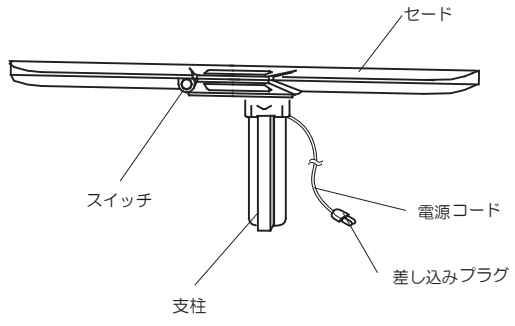
②可動棚の後に樹脂パーツをはめ込んでください。



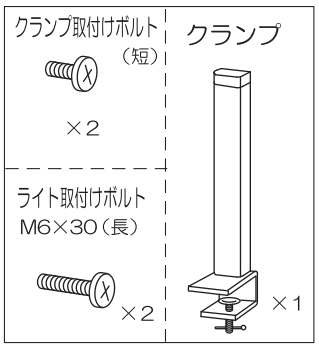
③線ダボが浮いていないか確かめてから可動棚をもとの位置に戻してください。

3 照明器具の取り付け方法

<SB-444>



■ライト付属品

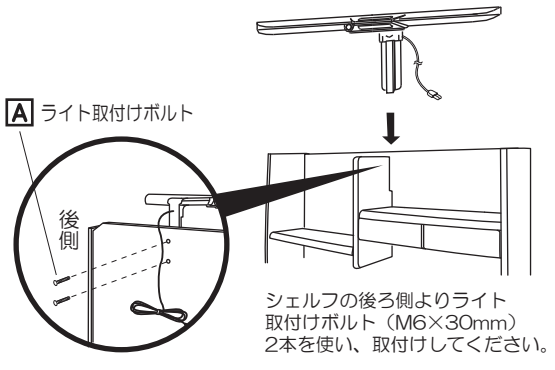


※ライトの使用方法については、ライトに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠設置のご注意

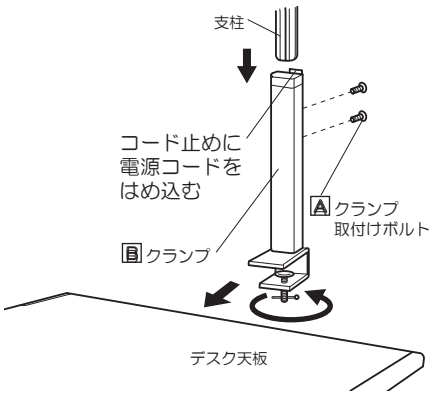
⃠不安定な場所、状態での使用は避け、クランプを使用する場合はクランプを机等に十分にはめんで確実に取付けてください。
（クランプの取付けは、40mmまで取付可能です。）
また、強度の弱い箇所（しなる、曲がる、反る）には取付けないでください。
はめ込み及びクランプ止めネジの締め付けが不十分な場合、ガタツキ、倒れ等の原因になります。
なお、安全のため取付け後可動させてゆがみがないか、ガタツキがないか再確認してください。傾斜した机等に取付けますと正常な可動ができません。棚にボルトで締め付けて固定させた場合も取付け後に安全の確認をしてください。

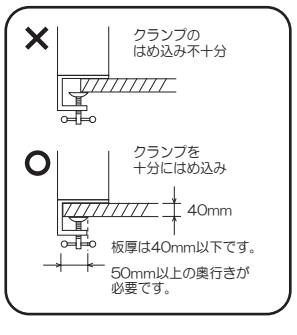
STEP1 の場合



シェルフの後ろ側よりライト取付けボルト（M6×30mm）2本を使い、取付けしてください。

STEP2、STEP3 の場合





■クランプでの取付け方法

①クランプ本体を机にはさみ込んでハンドルを回して、回らなくなるまで締めてください。
②ライト支柱をクランプの支柱に差し込んでください。
③後からボルト2本で固定してください。
⃠転倒の原因となりますので、クランプは弱い場所（薄板、かかり代の少ない所、丸棒等）には付けないでください。
⃠指定のボルトサイズ以外のボルトは使用しないでください。
➡感電・故障の原因となります。

4 デスクの組立て方法

■デスク付属品

C ボルト(M6×35mm)	E ボルト用キャップ	カギ	I カバンフック	J トラスボルト(M6×15mm)	D 穴埋めキャップ	ナット用キャップ
SAT1BZ635	SAT6BC60W SAT6BC60V SAT6BC60R	LTFTKD503	SATTKF07W SATTKF07V SATTKF07R	SAT6BW625	SAT9AC18W SAT9AC18V SAT9AC18R	SZCTDC10W SZC9DC07V SZC7DC06R
×10	×10	1セット	×1	×1	×2	×3

部品品番が3行表記のものは、商品カラーにより使用部品の色が変わるものです。末尾の記号W=WW商品色用、V=NS商品色用、R=WT商品色用となります。

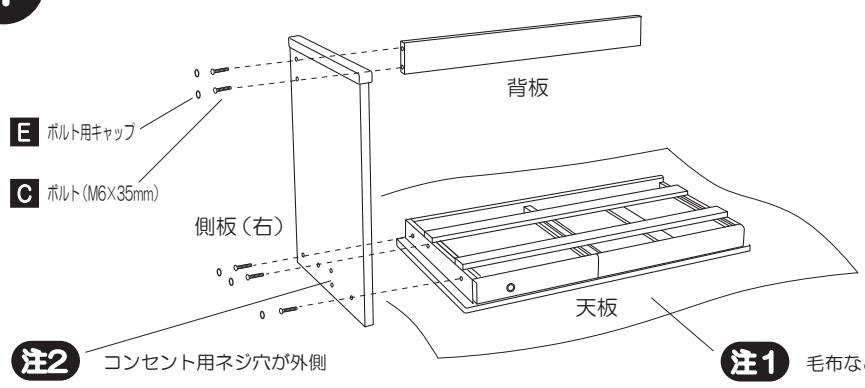
注1 天板などに傷がつかないように、毛布などで保護してください。

注2 側板は、コンセント用ネジ穴がある側を外側にして組立てしてください。

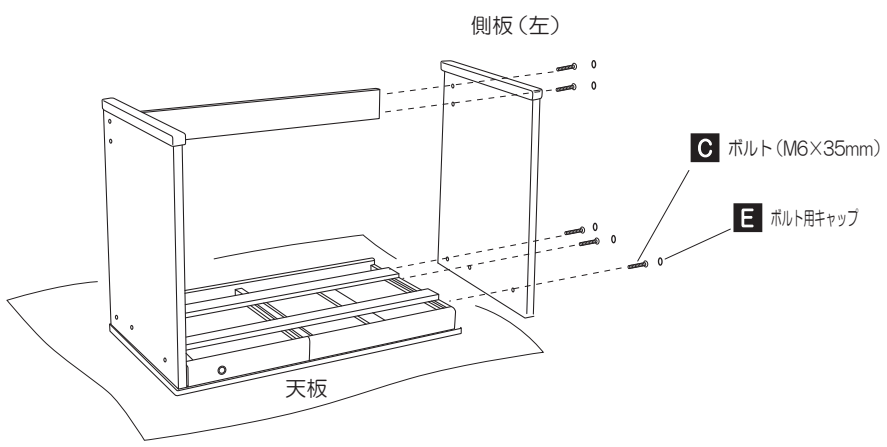
注3 C ボルト(M6×35mm) D 穴埋めキャップ ナット用キャップ
の各1個はシェルフであまったものを使用します

STEP1、STEP3の場合

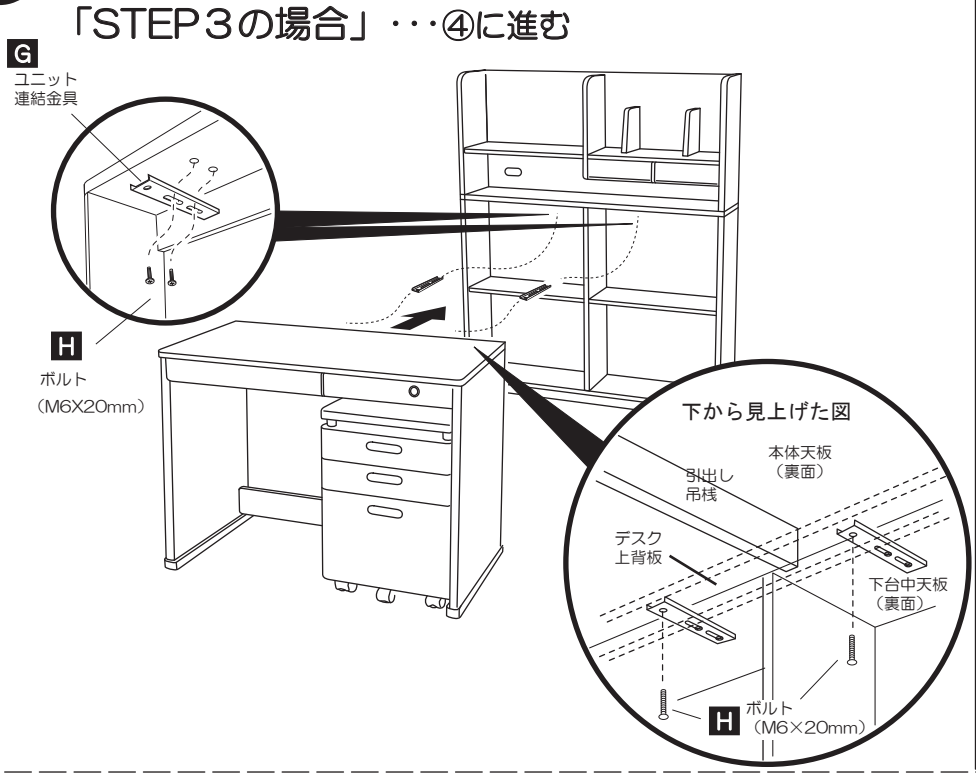
1



2



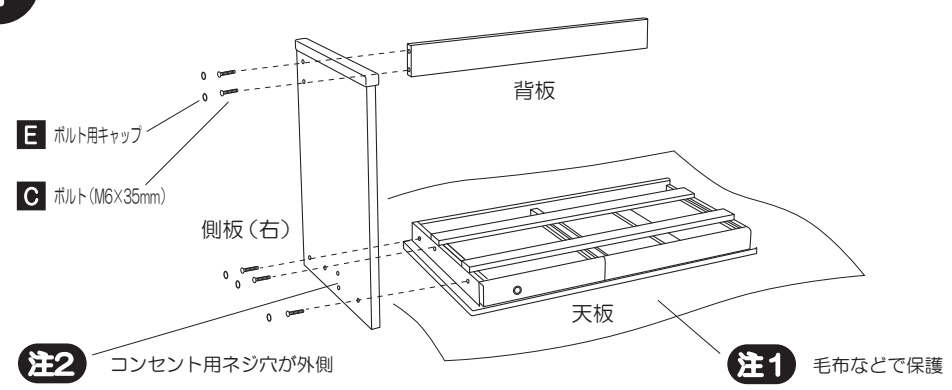
3 「STEP1 の場合」・・・デスクとシェルフをジョイント
「STEP3の場合」・・・④に進む



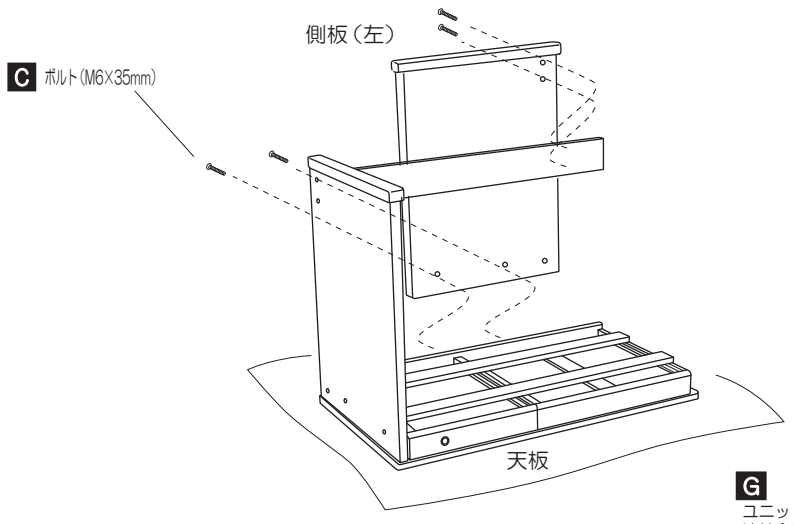
STEP2（ユニットデスク）の場合

※この図では左シェルフ使いのユニットデスクの組み方を表記しています。
右シェルフに組まれる場合は、それぞれの左右を逆に組立てしてください。

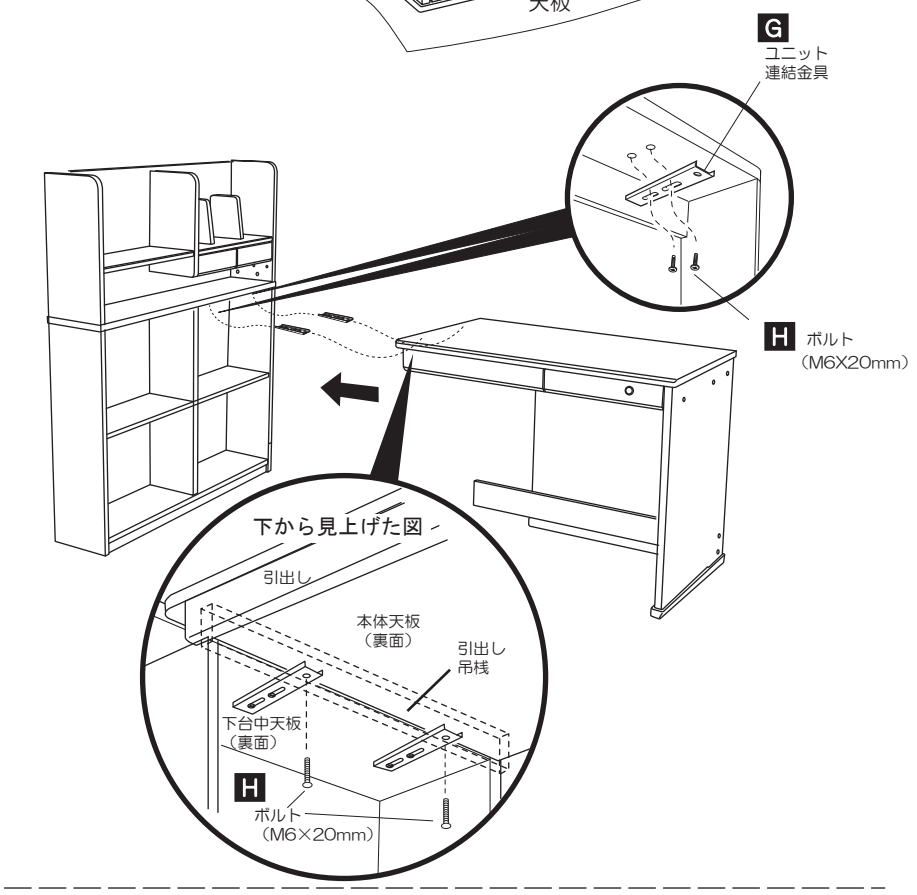
1



2

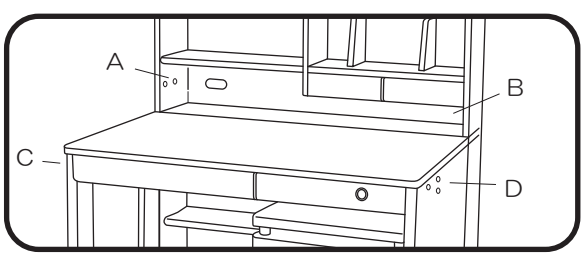


3

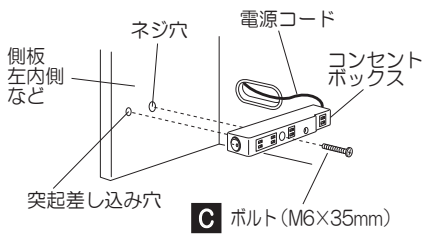


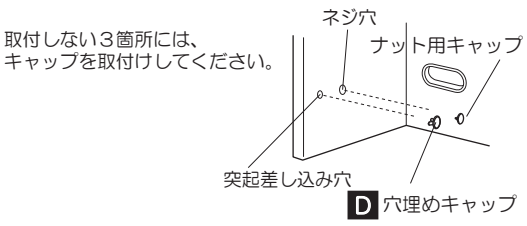
4 コンセントボックスの取付け

コンセントの取付部を下図A～Dより選択し、
右図のように取付けしてください。



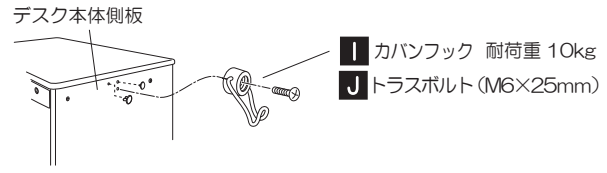
注3 C ボルト(M6×35mm) D 穴埋めキャップ ナット用キャップ
の各1個はシェルフであまったものを使用します



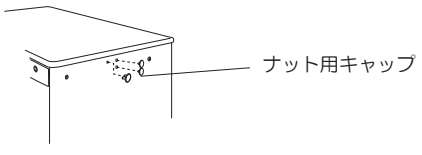


5 カバンフックの取付け

カバンフックの取付部を右図C・Dより
選択し、下図のように取付けしてください。



取付けしない箇所には、
ナット用キャップを取付けしてください。
(STEP2の場合は取付けしません)



使用方法

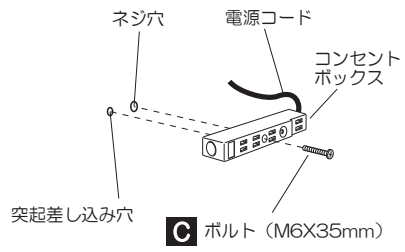
■コンセントボックスの使用方法

（1）取付け方法

①前述の4ヶ所の取付け部にあるコンセント取り付け用の穴に、コンセント裏面にある突起部を差し込んでください。
②コンセント中央にあるネジ穴に、ボルト（M6X35mm・1本）を差し込み、⊕ドライバーを用いてしっかり固定してください。

⃠ 確実にコンセントを取り付けてください。
➡ 落下により、けが・破損の原因になります。

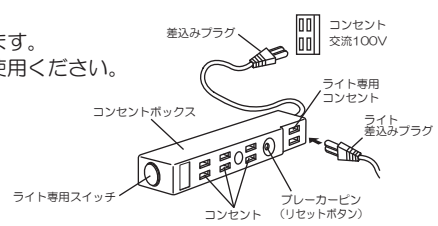
③電源コードは上棚の背板のコード通し穴を通して、室内の壁コンセントに接続してください。
※コンセントを上棚に取り付ける場合、お好みに応じて上棚の正面の向かって左、または右に取り付けることができます。
※電源コードの差し込みプラグは、必ず壁コンセントから抜いた状態で、取り付け、付けかえを行なってください。



（2）机のコンセントは4口で、合計1300ワット(W)までの家電製品が使用できます。

⃠ ご使用の家電製品の定格消費電力のワット（W）数の合計が 1300 ワット（W）以下となることを確かめてからご使用ください。
エアコンや掃除機等のように定格消費電力以外のワット（W）数表示のある家電製品がありますのでご注意ください。
➡ 合計が 1300 ワット (W) を超えた状態でご使用になりますと、ブレーカーがはたらきコンセントが使用できなくなります。

⃠ ライト専用コンセントは、付属のライト以外には絶対に使用しないでください。
➡ 付属のライト以外の家電製品を使用されますと火災・発煙・過熱の原因になります。
机のコンセントで使用できない場合場合は室内の壁コンセントで家電製品をご使用ください。



（3）ブレーカーがはたらいた場合

ブレーカーピンが手前に飛び出します。
①コンセントボックスのすべてのコンセントから電源コードを抜いてください。
②ブレーカーピンを押し込んでください。

⃠ ご使用の家電製品の定格消費電力のワット（W）数の合計が 1300 ワット（W）を超える場合、その他過電流が流れる場合は、原因を取り除いたうえ、ご使用ください。
エアコンや掃除機等のように定格消費電力以外のワット（W）数表示のある家電製品がありますのでご注意ください。
➡ 原因を取り除かずに、リセット操作を繰り返した場合、発煙・過熱・変形の原因となります。

⚠警告

⃠ このコンセントは固定した状態で使用する様に設計されています。
ボルトを外した状態での使用や延長コードとしてのご使用はおやめください。
➡ コードが早くいたんだり、火災・感電・破損の原因になります。
⃠ ネジ類をはずしたり、分解・修理・改造は絶対にしないでください。
➡ 火災・感電の原因になります。
⃠ プラグは完全に根元まで差し込んでください。
➡ 不完全ですと、火災、感電の原因になります。

■照明器具の使用方法　※ライトの使用方法については、ライトに添付の取扱説明書をご参照ください。

(1)電源コードの接続

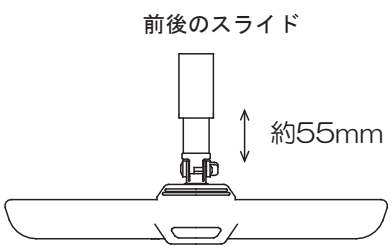
⃠ 電源コードの差し込みプラグを交流100ボルトのコンセントにしっかり差込んでください。 ➡ 火災・感電の原因になります。

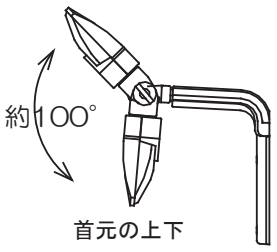
⃠ コンセントの差し込み口がゆるまない状態でご使用ください。 ➡ ゆるんだままご使用になりますと、火災・過熱の原因になります。
ゆるんでいる場合は必ず電気店で点検、修理を受けてからご使用ください。

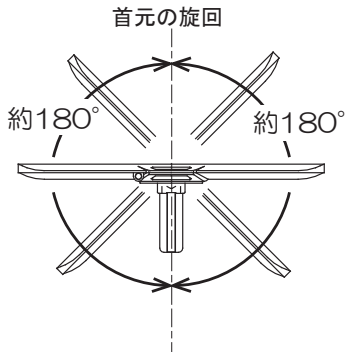
(2)操作方法

●ライトの動作範囲は、右図のようになっています。
●セードをお好みの角度に調整してください。

⃠ 各部の動きが軽くなったり、セードが下がってきた場合は
調節ツマミを右に強く回してください。



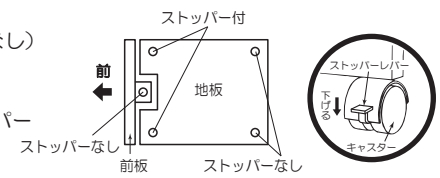




■ワゴンの使用方法　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

（1）キャスターの取付け・使用方法

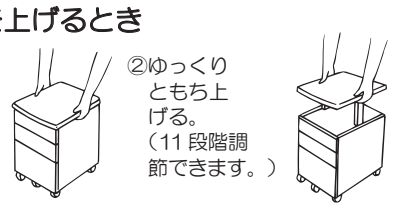
①地板の裏にキャスター4個をしっかり差し込んでください。
②下段引出しの下のキャスター取付穴にキャスター（ストッパーなし）
1個をしっかり差し込んでください。
●ワゴンはキャスターにより、自由に移動できます。
●移動を止めたい時は、ワゴンの前方両端のキャスターのストッパー
レバーを押し下げてください。



（2）ワゴン昇降天板　上下操作方法

●天板を上げるとき

①両手で天板の左右を持つ。
②ゆっくりともち上げる。（11 段階調節できます。）



レバーを下へ(左側は上へ、右側は下へ)押しながら引出しを抜くとはずれます。

●天板を下げるとき

①両手で天板の左右のレバーを上に引き上げる。
②レバーを引き上げたままゆっくりおろす。

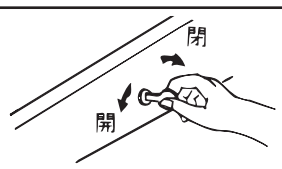
⚠警告

⃠ 天板には20㎏を超えるものをのせないでください。
➡ けが・破損の原因になります。（天板中央部垂直耐荷重:100㎏）
⃠ 昇降天板は水平を保つようにして固定してください。
➡ 傾いたまま使っていると、天板の上のものが落ちたりし、けが・破損の原因になります。
⃠ 昇降天板の可動操作は、両手でゆっくり確実に行なってください。
➡ むりな力を加えたり固定が不完全ですと、けが・破損の原因にります。
⃠ 昇降天板面にものをのせた状態で、天板可動操作はしないでください。
➡ けが・破損の原因になります。
⃠ 天板や引出しの上に乗らないでください。
➡ けが・破損の原因になります。
⃠ 激しく動かしたり、押して遊んだりしないでください。
➡ 倒れてけがをしたり、他のものをこわしたりする原因になります。
⃠ 水平を保つように置いてください。
➡ ガタツキのまま使っていると、引出しの出し入れがスムーズでなかったり、
けが・破損の原因になります。

■カギの使用方法　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

●カギを差し込んで、右へ180°まわすと閉まります。
●カギを差し込んで、左へ180°まわすと開きます。

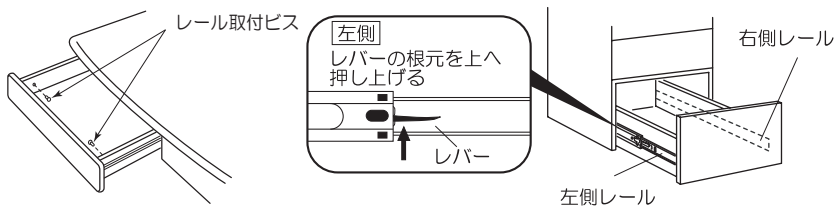
※カギは全機種共通の為、盗難防止の保障はいたしかねます。
⚠カギは最後まで差し込んでから操作してください。また、まわし過ぎないようにしてください。
➡カギや錠前の破損の原因になります。



■引き出しの使用方法　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

＜引出しのはずし方＞
①金属レール（デスク本体、ワゴン上・中引出し）
●引出しは、内面のレール取付ビス(左・右)２本をはずすと抜き取れます。
②ワゴン下引出し金属レール
●引出しを前まで引き出し、左側レバーは上へ、右側レバーは下へ押し
ながら、引出しを抜き出します。

＜引出し内の耐荷重＞
デスク本体引出し…６kg
シェルフ小引出し…１kg
ワゴン上引出し……５kg
ワゴン中引出し……５kg
ワゴン下引出し……２０kg



使用上のご注意

マークによって、お守りいただく内容を説明しています。
⃠必ず行っていただきたい指示内容　⚠気をつけていただきたい注意内容

マーク	重要事項	危害・損害
⃠	●固定用ネジ類がゆるんだまま使用しない。	ケガや器物損傷の原因になります。
⃠	●家具の上に、加熱したなべ・やかん等を直接置かない。	器物損傷の原因になります。
⃠	●差込みプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。	ケガや器物損傷の原因になります。
⃠	●机などの上に立ったり、踏み台代わりにしたり、不安定な姿勢で掛けたりしない。	ケガや器物損傷の原因になります。
⃠	●点灯中や消灯直後のランプおよびその周辺をさわらない。	やけどやケガの原因になります。
⃠	●引出しや引手の上に乗ったり、扉等にぶらさがったり、無理に引っ張ったりしない。	ケガや器物損傷の原因になります。
⃠	●塗料や接着剤のにおいが残っている場合換気をして取り除くようにしてください。	体調不良の原因になります。

マーク	重要事項	危害・損害
⃠	●器具やランプに布・紙などをかぶせたり、近づけたりしない。	ケガや器物損傷の原因になります。
⃠	●コンセントや器具に棒等の異物を差し込まない。	ケガや器物損傷の原因になります。
⃠	●タコ足配線したり、コードを無理に曲げたり、ねじったりしない。	火災や感電、過熱の原因になります。
⃠	●水洗いしたり、ぬれた手でさわらない。	火災や感電の原因になります。
⚠	●天板以外にセロテープ等を貼らない。	器物損傷の原因になります。
⚠	●シンナー･ベンジン等でふいたり、殺虫剤をかけたりしない。	器物損傷の原因になります。
⚠	●天板にボールペン等の傷がつかないようにマットや下敷きを使ってください。	器物損傷の原因になります。